

# 特別プログラム

特別講演  
学会受賞講演  
教育講演  
シンポジウム  
共催シンポジウム  
サテライトシンポジウム  
ランチオンセミナー  
イブニングセミナー  
市民公開講座

※セッション別に掲載しております。

# 特別講演・学会賞受賞講演

■日時：11月29日(木) 11:00~12:00 ■会場：第1会場 フェニックスホール

特別講演01

座長 岩本愛吉 (東京大学医科学研究所先端医療研究センター感染症分野)

## SL01 The Discovery of Isentress – From Bench to the Clinic

Daria J. Hazuda

(Merck Research Laboratories)

■日時：11月29日(木) 14:50~15:50 ■会場：第1会場 フェニックスホール

特別講演02

座長 高田 昇 (広島大学病院輸血部)

## SL02 New Developments in HIV/AIDS Prevention in the United States: Implications for Training Japanese Health Professionals

Mitchell D. Feldman

(University of California, San Francisco)

■日時：11月29日(木) 13:40~14:40 ■会場：第1会場 フェニックスホール

学会賞受賞講演

# 教育講演

■日時：11月29日(木) 8:00~8:50 ■会場：第4会場 ダリア②

教育講演01

座長 加藤康幸 (国立国際医療センター国際疾病センター)

## EL01 医療者は患者にどう性の話をするのか

井戸田一朗

(しらかば診療所 院長)

■日時：11月29日(木) 8:00~8:50 ■会場：第5会場 コスモス①

教育講演02

座長 原田信志 (熊本大学大学院医学薬学研究部)

## EL02 HIV-1の種特異的増殖

足立昭夫

(徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部ウイルス病原学分野)

■日時：11月29日(木) 8:00~8:50 ■会場：第6会場 コスモス②

教育講演03

座長 馬場昌範 (鹿児島大学大学院医歯学総合研究科)

## EL03 HIV感染における神経障害：エイズ脳症の発症機序を中心に

出雲周二

(鹿児島大学医歯学総合研究科附属難治ウイルス病態制御研究センター 分子病理病態研究分野)

■日時：11月29日(木) 8:55~9:45 ■会場：第5会場 コスモス①

教育講演04

座長 小柳義夫 (京都大学ウイルス研究所)

## EL04 APOBEC3G/VifによるHIV-1の複製制御

高折晃史

(京都大学大学院医学研究科 血液・腫瘍内科)

■日時：11月29日(木) 9:55~10:45 ■会場：第5会場 コスモス①

教育講演05

座長 小西加保留 (関西学院大学社会学部)

## EL05 自立支援医療：患者への説明のコツ

伊賀陽子

(兵庫医科大学病院 地域医療・総合相談センター ソーシャルワーカー)

# 教育講演

■日時：11月30日(金) 8:00~8:50 ■会場：第4会場 ダリア②

教育講演06

座長 味沢 篤 (東京都立駒込病院感染症科)

## EL06 薬物依存症とHIV感染症—予防的な働きかけを中心に—

森田展彰

(筑波大学大学院人間総合科学研究科)

■日時：11月30日(金) 8:00~8:50 ■会場：第5会場 コスモス①

教育講演07

座長 山本直樹 (国立感染症研究所エイズ研究センター)

## EL07 HIV感染と免疫応答

高橋秀実

(日本医科大学 微生物学免疫学教室)

■日時：11月30日(金) 8:00~8:50 ■会場：第6会場 コスモス②

教育講演08

座長 花房秀次 (荻窪病院血液科)

## EL08 HIV定量法の進歩とその臨床応用 (生殖医療への応用)

加藤真吾

(慶應義塾大学 医学部 微生物学・免疫学教室)

■日時：11月30日(金) 10:10~11:00 ■会場：第5会場 コスモス①

教育講演09

座長 石川晃一 (国立感染症研究所エイズ研究センター)

## EL09 発展途上国における医療現場と分子レベルの医科学研究との架け橋

有吉紅也

(長崎大学熱帯医学研究所感染症予防治療分野/長崎大学医学部歯学部附属病院感染症内科(熱研内科))

■日時：11月30日(金) 11:10~12:00 ■会場：第5会場 コスモス①

教育講演10

座長 高松純樹 (名古屋大学医学部付属病院輸血部)

## EL10 血液はどこまで安全か

日野 学

(日本赤十字社 血液事業本部)

# シンポジウム

■日時：11月28日(水) 13:10~15:10 ■会場：第1会場 フェニックスホール

## シンポジウム01

HAART時代の日和見感染症  
—残された課題—

座長 安岡 彰 (長崎大学医学部・歯学部附属病院感染症制御教育センター)

### SY01-1 いま何が問題か

安岡 彰

長崎大学医学部・歯学部附属病院感染症制御教育センター

### SY01-4 AIDS関連リンパ腫の克服へ向けての取り組み

萩原将太郎

国立国際医療センター 血液内科

### SY01-2 ニューモシスチス肺炎の早期診断における課題

堀場昌英

国立病院機構東埼玉病院 呼吸器科

### SY01-5 わが国における免疫再構築症候群の現状

古西 満

奈良県立医科大学感染症センター

### SY01-3 非定型抗酸菌症

照屋勝治、田沼順子、仲村秀太、後藤耕司、  
柳沢邦雄、神村麻穂子、渡辺恒二、渡辺珠代、  
本田元人、塚田訓久、矢崎博久、本田美和子、  
瀧永博之、立川夏夫、菊池 嘉、岡 慎一

国立国際医療センター エイズ治療開発センター(ACC)

■日時：11月28日(水) 13:10~15:10 ■会場：第2会場 ヒマワリ

## シンポジウム02

HIVに対する宿主防御免疫機構：  
自然免疫から適応免疫まで

座長 俣野哲朗 (東京大学医科学研究所)

### SY02-1 HIV-1感染抵抗性を賦与する新規宿主遺伝子の解析とその作用機序

宮澤正顕

近畿大学医学部 免疫学教室

### SY02-3 Elite control of HIV-1 infection

Toshiyuki Miura<sup>1,2,3)</sup>、  
Florenicia Pereyra<sup>1,2)</sup>、Mark Brockman<sup>1,2)</sup>、  
Alicia Trocha<sup>1,3)</sup>、Zabrina Brumme<sup>1,2)</sup>、  
Chanson Brumme<sup>1)</sup>、David Heckerman<sup>4)</sup>、  
Arne Schneidewind<sup>1,2)</sup>、Bin Li<sup>1,2)</sup>、  
Todd Allen<sup>1,2)</sup>、Bruce Walker<sup>1,2,3)</sup>

1)Partners AIDS Research Center, Massachusetts General Hospital

2)Harvard Medical School

3)Howard Hughs Medical Institute

4)Microsoft Research

### SY02-2 HIV慢性感染期におけるHIV特異的CD4陽性T細胞の機能障害—ワクチン開発に向けての考察

横田(恒次)恭子<sup>1)</sup>、山本拓也<sup>1, 2)</sup>、

Brigitte Autran<sup>3)</sup>

1)国立感染症研究所 免疫部

2)東大医科学研究所 分子発癌分野

3)INSERUM U543, Pitie-Salpetriere Hospital, Paris, France

### SY02-4 免疫逃避と細胞傷害性T細胞

滝口雅文

熊本大学エイズ学研究センター・ウイルス制御分野

# シンポジウム

■日時：11月28日(水) 13:10~15:10 ■会場：第4会場 ダリア②

## シンポジウム03

包括的HIVカウンセリングにいま求められるもの

座長 兒玉憲一 (広島大学大学院教育学研究科)  
小島賢一 (荻窪病院血液科)

【基調講演】広島大学病院における包括的HIVカウンセリング

喜花伸子

(財)エイズ予防財団/広島大学病院エイズ医療対策室

大下由美

県立広島大学 保健福祉学部

SY03-2 看護師の立場から心のケアを考える

有馬美奈

東京都保健医療公社荏原病院 看護部

SY03-3 薬剤師の立場から心のケアを考える

栞原 健

国立病院機構大阪医療センター薬剤科

SY03-1 HIV専門医の立場から心のケアを考える

山元泰之

東京医科大学病院臨床検査医学科

SY03-4 感染者の立場から心のケアを考える

当事者

■日時：11月28日(水) 18:20~20:20 ■会場：第2会場 ヒマワリ

## シンポジウム04

HIV陽性者の治療認識 (Treatment Literacy) ~医療現場と自助活動の連携・協働の可能性を探る~

座長 長谷川博史 (日本HIV陽性者ネットワーク・ジャンププラス)  
大平勝美 (はばたき福祉事業団)

SY04-1 日本のHIV医療の起点と患者の関わり~患者参加型医療の実現と展開~

大平勝美

はばたき福祉事業団

SY04-4 地方におけるHIV陽性者の生活に関する医療とSHGとの協働

藤原良次

りょうちゃんず

SY04-2 医師の立場から見た治療情報の提供

山本政弘

国立病院機構九州医療センター免疫感染症科

SY04-5 治療と生活の両立を目指した療養継続支援

池田和子

国立国際医療センター ACCコーディネーターナース

SY04-3 新陽性者PEER Group Meeting(PGM)の”医療情報セッション”より

矢島 嵩

特定非営利活動法人 ぶれいす東京

SY04-6 新HIV陽性者のための治療生活ガイダンス~生活者の視点から考える治療~

長谷川博史

日本HIV陽性者ネットワーク・ジャンププラス

# シンポジウム

■日時：11月29日(木) 8:55~10:55 ■会場：第1会場 フェニックスホール

シンポジウム05 抗HIV療法の20年：現在と未来

座長 満屋裕明 (熊本大学血液内科・感染免疫診療部)  
岡 慎一 (国立国際医療センターエイズ治療・研究開発センター)

SY05-1 AIDS治療薬開発研究の23年

満屋裕明  
熊本大学 血液内科・感染免疫診療部

SY05-3 HIV感染症に対する治療戦略の輪廻

岡 慎一  
国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター

SY05-2 新しい抗ウイルス機序によるAIDS治療薬：  
プロテアーゼ二量体化阻害の研究

関 康博  
熊本大学大学院医学薬学研究部血液内科学・感染免疫診療部

■日時：11月29日(木) 8:55~10:55 ■会場：第2会場 ヒマワリ

シンポジウム06 HIV/HBV・HCVの重複感染について

座長 小池和彦 (東京大学感染症内科)  
菊池 嘉 (国立国際医療センターエイズ治療・研究開発センター)

SY06-1 HIV・HBV/HCVの重複感染の本邦における実態

四柳 宏、小池和彦  
東京大学感染症内科

SY06-4 日本のHIV・HCV重複感染症とその治療

塚田訓久  
国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター

SY06-2 ウイルス肝炎の病態に及ぼすHIV重複感染の影響

正木尚彦<sup>1)</sup>、酒匂赤人<sup>1)</sup>、今村雅俊<sup>1)</sup>、菊池 嘉<sup>2)</sup>、  
岡 慎一<sup>2)</sup>

1) 国立国際医療センター消化器科  
2) エイズ治療・研究開発センター

SY06-5 HIV・HCV重複感染について一肝不全症例に対する生体肝移植の試み

菅原寧彦  
東京大学人工臓器移植外科

SY06-3 HIV・HCV/HBV重複感染例に対する抗  
肝炎ウイルス治療

加藤道夫<sup>1)</sup>、上平朝子<sup>2)</sup>、葛下典由<sup>1)</sup>、三田英治<sup>1)</sup>、  
白阪琢磨<sup>2)</sup>

1) 国立病院機構大阪医療センター消化器科  
2) 同免疫感染症科

# シンポジウム

■日時：11月29日(木) 8:55~10:55 ■会場：第4会場 ダリア②

## シンポジウム07

MSM集団はHIV/AIDS対策においてhard-to-reach populationか？  
～コミュニティ規模調査後のMSM  
向け予防戦略を検討する

座長

鬼塚哲郎 (京都産業大学文化学部/MASH大阪代表)  
佐藤知久 (京都文教大学人間学部文化人類学科)

SY07-1 行動疫学調査から見たMSM (Men who have Sex with Men) のHIV感染予防行動の現状

日高庸晴

財団法人エイズ予防財団/京都大学大学院医学研究科

SY07-3 MSM向け感染対策における医療者の情報の活用

健山正男

琉球大学大学院医学研究科感染病態制御学講座 分子病態感染学分野

SY07-2 感染者となった過程を知ることは、今の予防に役立つのだろうか？

山元泰之

東京医科大学病院 臨床検査医学科

SY07-4 MSM向け感染対策における医療者とCBOの役割

山田創平

財団法人エイズ予防財団

■日時：11月29日(木) 16:00~18:00 ■会場：第3会場 ダリア①

## シンポジウム08

「日本におけるHIV感染予防戦略」  
パートナーマネジメントの意義

座長

中瀬克己 (岡山市保健所)  
白阪琢磨 (国立病院機構大阪医療センターHIV/AIDS先端医療開発センター)

SY08-1 MSMでの感染予防戦略

市川誠一

名古屋市立大学看護学部

SY08-3 ~わが国のHIV日常診療においてパートナーマネジメントはどのように行われているか？～経験を踏まえた現状と展望

後藤哲志

大阪市立総合医療センター 感染症センター

SY08-2 アジアのエイズ対策からの教訓～タイの経験はアジア・太平洋に活かされるか？

沢田貴志

シェア=国際保健協力市民の会副代表

SY08-4 米国・カナダでの予防戦略におけるパートナー・マネジメント

堀 成美

東京都立駒込病院感染症科



# シンポジウム

■日時：11月30日(金) 10:10~12:10 ■会場：第1会場 フェニックスホール

シンポジウム09 みんなで作るチーム医療 -チーム 座長 白阪琢磨 (国立病院機構大阪医療センター HIV/AIDS先端医療開発センター)  
医療の確立を目指して- 栗原 健 (国立病院機構大阪医療センター薬剤科)

- |  |  |
|--|--|
| SY09-1 MSWの立場から<br>伊賀陽子<br>兵庫医科大学 地域医療・総合相談センター    | SY09-4 医師の立場から<br>佐藤典宏<br>北海道大学病院 高度先進医療支援センター |
| SY09-2 派遣カウンセラーの立場から<br>石川雅子<br>千葉県健康福祉部健康増進課疾病対策室 | SY09-5 看護師の立場から<br>豊島裕子<br>大阪市立総合医療センター        |
| SY09-3 薬剤師の立場から<br>小住好子<br>国立病院機構仙台医療センター 薬剤科      | SY09-6 利用者の立場から<br>一利用者                        |

■日時：11月30日(金) 10:10~12:10 ■会場：第2会場 ヒマワリ

シンポジウム10 医療者へのエイズ教育 座長 高田 昇 (広島大学病院輸血部)  
照屋勝治 (国立国際医療センターエイズ治療開発センター)

- |   |  |
|---|--|
| SY10-1 医学系及び看護系大学におけるHIV感染症教育の実態<br>後藤文子<br>(財)エイズ予防財団/広島大学病院エイズ対策室           | SY10-3 エイズ診療格差のキーワード：自信とスティグマ<br>神馬征峰、Jamie Abdennadher<br>東京大学大学院医学系研究科 国際地域保健学教室 |
| SY10-2 拠点病院の医療スタッフへの教育・研修の実態<br>照屋勝治、菊池 嘉、岡 慎一<br>国立国際医療センター エイズ治療開発センター(ACC) | SY10-4 21世紀のエイズ教育、米国の医学教育の紹介と今後の日本への提言<br>五味晴美<br>自治医科大学臨床感染症センター感染症科              |

# シンポジウム

■日時：11月30日(金) 10:10~12:10 ■会場：第4会場 ダリア②

## シンポジウム11

「HIV母子感染予防対策の20年」  
—現在の医学的・社会的問題点とその対策—

座長 塚原優己 (国立成育医療センター周産期診療部産科)  
関矢早苗 (東京都立駒込病院看護部)

### SY11-1 妊婦HIVスクリーニング検査

矢永由里子

エイズ予防財団 研修・研究部

期・小児・生殖医療におけるHIV感染対策に関する集学的研究」班

### SY11-2 感染管理の視点でとらえた「HIV母子感染予防対策マニュアル」

内山正子

新潟大学医歯学総合病院 感染管理部

### SY11-4 HIV感染妊婦から出生した児の成長発達支援

外川正生<sup>1,3)</sup>、稲葉憲之<sup>2,3)</sup>

1)大阪市立総合医療センター小児医療センター小児救急科  
2)獨協医科大学産婦人科  
3)厚生労働科学研究費補助金(エイズ対策研究事業)「周産期・小児・生殖医療におけるHIV感染対策に関する集学的研究」班

### SY11-3 HIV感染妊娠の自然(経腔)分娩

喜多恒和<sup>1,3)</sup>、稲葉憲之<sup>2,3)</sup>

1)帝京大学医学部産婦人科  
2)獨協医科大学産婦人科  
3)厚生労働科学研究費補助金(エイズ対策研究事業)「周産

### SY11-5 女性HIV陽性者の妊娠・出産支援

大金美和

国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター

■日時：11月30日(金) 13:30~15:30 ■会場：第1会場 フェニックスホール

## シンポジウム12

HIV検査・相談 —その様々な取り組みと今後のあり方—

座長 今井光信 (神奈川県衛生研究所)  
市川誠一 (名古屋市立大学看護部)

### SY12-1 全国の保健所における取り組み—全国アンケート調査の結果から—

今井光信

神奈川県衛生研究所

### SY12-4 長野県佐久地域におけるHIV/AIDS発生動向と対策

高山義浩

佐久総合病院総合診療科

### SY12-2 特設検査相談施設の役割—東京都南新宿検査相談室における取り組み—

小島弘敬

東京都南新宿検査・相談室

### SY12-5 在宅検査の現状と課題 —郵送検査の現状と今後の課題—

佐野(嶋)貴子

神奈川県衛生研究所 微生物部

### SY12-3 民間クリニックにおける即日検査の役割・診療所におけるHIV迅速検査の現況報告

山中 晃<sup>1)</sup>、金子 恵<sup>1)</sup>、青木 眞<sup>2)</sup>、高 明志<sup>3)</sup>、山元泰之<sup>3)</sup>、福武勝幸<sup>3)</sup>、嶋 貴子<sup>4)</sup>、今井光信<sup>4)</sup>

1)新宿東口クリニック  
2)サクラ精機(株)  
3)東京医科大学病院臨床検査医学講座  
4)神奈川県衛生研究所

### SY12-6 個人輸入によるHIV 自己検査キットの実態

木村和子

金沢大学大学院自然科学研究科

### 特別発言

電話相談からみたHIV検査の課題について

生島 嗣

特定非営利活動法人 ぶれいす東京

# シンポジウム

■日時：11月30日(金) 13:30~15:30 ■会場：第2会場 ヒマワリ

シンポジウム13 HIV増殖とその制御分子

座長 小柳義夫 (京都大学ウィルス研究所)  
森川裕子 (北里大学北里生命科学研究所)

SY13-1 レトロウイルス増殖阻害因子TRIM5 $\alpha$

塩田達雄

大阪大学微生物病研究所 ウィルス感染制御分野

SY13-3 インテグラーゼと相互作用する宿主因子  
とHIV複製制御

増田貴夫

東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科免疫治療学分野

SY13-2 抗HIV-1宿主因子APOBEC3GとHIV-1  
Vif

高折晃史

京都大学大学院医学研究科 血液・腫瘍内科

SY13-4 Multimerization and Intracellular  
Trafficking of HIV-1 Gag in Living  
Cells

Paul Spearman, Lingmei Ding, Hua Li,  
Naomi Tsurutani, Hin Chu, Jun Dou

Department of Pediatrics Emory University School  
of Medicine Atlanta

■日時：11月30日(金) 13:30~15:30 ■会場：第3会場 ダリア①

シンポジウム14

我が国におけるHIV感染血友病患者  
の医学的・社会的現状と今後の課題

座長 三間屋純一 (静岡県立こども病院血液腫瘍科)

SY14-1 厚生労働省委託事業「血液凝固異常症全  
国調査」より

立浪 忍、瀧 正志、三間屋純一、白幡 聡、  
花井十伍、仁科 豊、大平勝美

血液凝固異常症全国調査運営委員会

SY14-3 HIV/HCV感染血友病患者の現在と未来

瀬戸信一郎

社会福祉法人はばたき福祉事業団理事

SY14-2 血友病HIV感染者の特徴と今後求められ  
る医療

花房秀次

荻窪病院血液科

SY14-4 HIV感染血友病患者の病ある人生の再構  
築と支援

山崎喜比古

東京大学大学院医学系研究科健康社会学教室

■日時：11月30日(金) 13:30~15:30 ■会場：第4会場 ダリア②

シンポジウム15

HIV研究の新たな交錯点を求めて  
—社会は何をどう経験してきたか—

座長 山中京子 (大阪府立大学人間社会学部社会福祉学科)  
内海 眞 (高山厚生病院)

SY15-1 文化人類学の視点から

佐藤知久

京都文教大学人間学部文化人類学科

SY15-3 医療社会学・障害学の視点から

市野川容孝

東京大学大学院総合文化研究科

SY15-2 医学史・生命倫理学の視点から

中島理暁

東京医科大学

# 共催シンポジウム・サテライトシンポジウム

■日時：11月30日(金) 10:10~12:10 ■会場：第3会場 ダリア①

共催  
シンポジウム

TREAT Asia symposium 2007  
in Hiroshima

座長 Kevin Robert Frost (TREAT Asia)  
Aikichi Iwamoto (The University of Tokyo, Japan)

CS-1 Chureeratana Bowon  
Chonburi Hospital, Thailand

CS-3 Peng Bo  
Henan University of Traditional Medicine, China

CS-2 Myung-Hwan Cho  
AIDS Society of Asia and the Pacific Konkuk  
University, Korea

CS-4 Yi-Ming Arthur Chen  
National Yang-Ming University, Taiwan

共催 鳥居薬品株式会社

■日時：11月28日(水) 18:20~20:20 ■会場：第3会場 ダリア①

サテライト  
シンポジウム01

歯科におけるHIV歯科診療ネット  
ワークの構築

座長 小森康雄 (東京医科大学 口腔外科)

SS1-1 HIV感染症と歯科診療ネットワークの現況  
小森康雄  
東京医科大学 口腔外科

SS1-4 エイズ歯科診療における大学病院と地域  
歯科医師会との連携  
吉野 宏  
広島大学歯科診療所

SS1-2 北海道におけるHIV/AIDS患者の歯科診  
療の現状  
巢山 達  
南12条千葉歯科クリニック

SS1-5 歯科治療における感染対策  
金子明寛  
東海大学医学部外科学系 口腔外科

SS1-3 広島県におけるHIV/AIDS患者の歯科診  
療の現状  
三反田 孝  
広島県歯科医師会

共催 広島県歯科医師会

# サテライトシンポジウム

■日時：11月29日(木) 18:30~20:30 ■会場：第3会場 ダリア①

サテライト シンポジウム02	MSMを対象とした予防活動の一方 法論としてのPOL (ポピュラー・オ ピニオン・リーダー) Grassroots Exchange Program からの報告	座長	根本 透 (Public Health Institute) 鬼塚直樹 (Institute for Global Health - University of California, San Francisco)
-------------------	---	----	--

- |       |  |       |  |
|-------|--|-------|--|
| SS2-1 | Grassroots Exchange Programの紹介とシンポジウムの趣旨の説明<br>根本 透<br>Public Health Institute   | SS2-4 | 地方のゲイコミュニティで必要とされること—仙台地域での取り組み<br>小浜耕治<br>東北HIVコミュニケーションズ/THCGVやろっこ |
| SS2-2 | CDCの予防介入プログラム<br>DEBI(Diffusion of Evidence Based<br>Intervention) の紹介と、そのなかで<br>MSM対象介入方法としてのPOLの説明<br>鬼塚直樹<br>Institute for Global Health - University of California,<br>San Francisco | SS2-5 | POLを主体としたMSM向け予防介入の<br>協働事業計画<br>新山 賢<br>Ehime Gay Walker            |
| SS2-3 | 米国におけるMSM向けの予防介入の現<br>状とその問題点<br>APIウェルネスセンター (サンフランシスコ)<br>STOP AIDS Project (サンフランシスコ)<br>APICHA (ニューヨーク)  | 後援    | The Japan Foundation,<br>Center for Global Partnership               |

■日時：11月29日(木) 18:30~20:30 ■会場：第4会場 ダリア②

サテライト シンポジウム03	HIV看護ケアの可能性を考える	座長	井上洋士 (東京大学大学院医学系研究科)
-------------------	-----------------	----	----------------------

- |       |  |     |  |
|-------|--|-----|--|
| SS3-1 | 患者を支援するとは—看護への期待<br>山崎喜比古<br>東京大学大学院医学系研究科健康社会学教室                | 討論者 | 織田幸子<br>国立病院機構 大阪医療センター 看護部<br>村上未知子<br>東京大学医科学研究所附属病院 |
| SS3-2 | HIV感染者のQOL維持・向上への看護ア<br>プローチ<br>井上洋士<br>ポジティブヘルスケア・リサーチ, 東京大学大学院 | 共催  | 広島県看護協会<br>HIV/AIDS看護学会                                |
| SS3-3 | 看護師によるHIV感染患者支援の実際と<br>課題<br>大野稔子<br>HIV/AIDS看護学会、北海道大学病院        |     |  |

# ランチョンセミナー

■日時：11月28日(水) 12:00~13:00 ■会場：第2会場 ヒマワリ

ランチョン  
セミナー01

座長 木村昭郎 (広島大学 原爆放射線医科学研究所血液内科)

LS01 HIV/HBV重複感染症の治療  
茶山一影  
広島大学大学院医歯薬総合研究科分子病態制御内科学

共催 ブリストルマイヤーズ株式会社

■日時：11月28日(水) 12:00~13:00 ■会場：第3会場 ダリア①

ランチョン  
セミナー02

座長 白阪琢磨 (国立病院機構大阪医療センター/HIV/AIDS先端医療開発センター)

ES02 HIV治療における長期戦略~治療中断の  
メリット・デメリット~  
松下修三  
熊本大学エイズ学研究センター 病態制御分野

共催 アボットジャパン株式会社

■日時：11月28日(水) 12:00~13:00 ■会場：第4会場 ダリア②

ランチョン  
セミナー03

HIVと結核

座長 岩本愛吉 (東京大学医科学研究所 先端医療研究センター感染症分野)

LS03-1 HIV感染症合併結核の臨床  
永井英明  
国立病院機構東京病院 呼吸器科

LS03-2 結核合併HIV患者におけるHIV治療の注  
意点  
小田原 隆  
東京大学医科学研究所附属病院 感染免疫内科

共催 万有製薬株式会社

■日時：11月29日(木) 12:05~13:05 ■会場：第2会場 ヒマワリ

ランチョン  
セミナー04

座長 岩本愛吉 (東京大学医科学研究所 先端医療研究センター感染症分野)

【症例報告】

天野景裕  
東京医科大学病院 臨床検査医学科

共催 ブリストルマイヤーズ株式会社

LS04 HAARTに伴う糖代謝異常  
小田原雅人  
東京医科大学病院 糖尿病・代謝・内分泌内科

# ランチョンセミナー

■日時：11月29日(木) 12:05~13:05 ■会場：第3会場 ダリア①

ランチョン  
セミナー05

座長 菊池 嘉 (国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター)

LS05 HIV感染症に伴う腎障害

共催 鳥居薬品株式会社

竹田徹朗

新潟大学医歯学総合病院 第二内科(腎・膠原病内科)

■日時：11月29日(木) 12:05~13:05 ■会場：第4会場 ダリア②

ランチョン  
セミナー06

座長 岡 慎一 (国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター)

LS06 HIV感染症患者におけるCMV感染症について

共催 田辺三菱製薬株式会社

上平朝子

国立病院機構 大阪医療センター 免疫感染症科・HIV/AIDS 先端医療開発センター

■日時：11月30日(金) 12:20~13:20 ■会場：第2会場 ヒマワリ

ランチョン  
セミナー07

座長 木村 哲 (東京通信病院)

LS07 HAART治療の最新知見

共催 ブリストルマイヤーズ株式会社

岡 慎一

国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター

■日時：11月30日(金) 12:20~13:20 ■会場：第3会場 ダリア①

ランチョン  
セミナー08

新規プロテアーゼ阻害剤の最新知見 座長 福武勝幸 (東京医科大学臨床検査医学講座)

LS08-1 満屋裕明

熊本大学 血液内科・感染免疫診療部

LS08-2 Mark Alastair Boyd

Senior lecturer, Faculty of Medicine, University of New South Wales

共催 ヤンセンファーマ株式会社

# ランチョンセミナー

■日時：11月30日(金) 12:20~13:20 ■会場：第4会場 ダリア②

ランチョン  
セミナー09

抗HIV療法におけるモニタリング検査の意義と活用

座長 杉浦 互 (国立感染症研究所エイズ研究センター)

LS09-1 血中濃度測定の意味と活用

栗原 健

国立病院機構大阪医療センター薬剤科

LS09-3 至適抗HIV治療における留意点

松下修三

熊本大学エイズ学研究センター病態制御分野

LS09-2 薬剤体制検査の意味と活用

杉浦 互

国立感染症研究所エイズ研究センター

共催 中外製薬株式会社



# イブニングセミナー

■日時：11月28日(水) 18:20~20:20 ■会場：第1会場 フェニックスホール

イブニング  
セミナー01

HIV感染症「治療の手引き」  
第11版

総合司会 満屋裕明 (熊本大学 大学院医学薬学研究部 血液内科・膠原病内科・感染免疫診療部)  
木村 哲 (東京通信病院)

ES01-1 HIV感染症「治療の手引き」第11版

木村 哲  
東京通信病院

ES01-3 HIV検査のあり方と問題点

木村 哲  
東京通信病院

ES01-2 HIV感染症治療レジメン  
ガイドラインと実際

岡 慎一  
国立国際医療センターエイズ治療・研究開発センター  
福武勝幸  
東京医科大学 臨床検査医学講座

満屋裕明

熊本大学 大学院医学薬学研究部 血液内科・膠原病内科・感染免疫診療部

共催 HIV感染症治療研究会  
グラクソ・スミスクライン株式会社

味澤 篤  
東京都立駒込病院 感染症科

白阪琢磨  
国立病院機構大阪医療センター  
HIV/AIDS先端医療研究開発センター

■日時：11月29日(木) 18:30~20:30 ■会場：第1会場 フェニックスホール

イブニング  
セミナー02

Improving the Management of HIV Diseases  
症例から学ぶHIV感染症診療のコツ

第一部 特別講演

座長 山元泰之 (東京医科大学 臨床検査医学講座)

ES02-1 Malignancies in HIV: A Growing  
Concern

Ronald A. Mitsuyasu  
Director, UCLA Center for Clinical AIDS Research  
and Education

第二部 Interactive Session

司会 青木 眞 (サクラ精機)

症例から学ぶHIV感染症診療のコツ  
コメンテーター

Ronald A. Mitsuyasu  
Director, UCLA Center for Clinical AIDS Research  
and Education

山元泰之  
東京医科大学 臨床検査医学講座

味澤 篤  
東京都立駒込病院 感染症科

大山 優  
亀田総合病院 腫瘍内科

共催 グラクソ・スミスクライン株式会社  
企画・協力 HIV Care Management  
Initiative—Japan

# イブニングセミナー

■日時：11月29日(木) 18:30~19:40 ■会場：第2会場 ヒマワリ

イブニング  
セミナー03

座長 満屋裕明 (熊本大学 血液内科・感染症免疫診療部)

ES03 Integrase Inhibitor: A New Paradigm for Treatment-Experienced Patients 共催 万有製薬株式会社  
Daria J. Hazuda  
Merck Research Laboratories

# 市民公開講座

■日時：12月1日(土) 13:30~15:30 ■会場：紙屋町シャレオ中央広場

市民公開講座

AIDS  
私たちができること

コーディネーター 河野美代子 (広島エイズダイアル代表)

講師：長谷川博史

日本HIV陽性者ネットワーク・ジャンププラス

本田美和子

国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター

共催 広島エイズダイアル